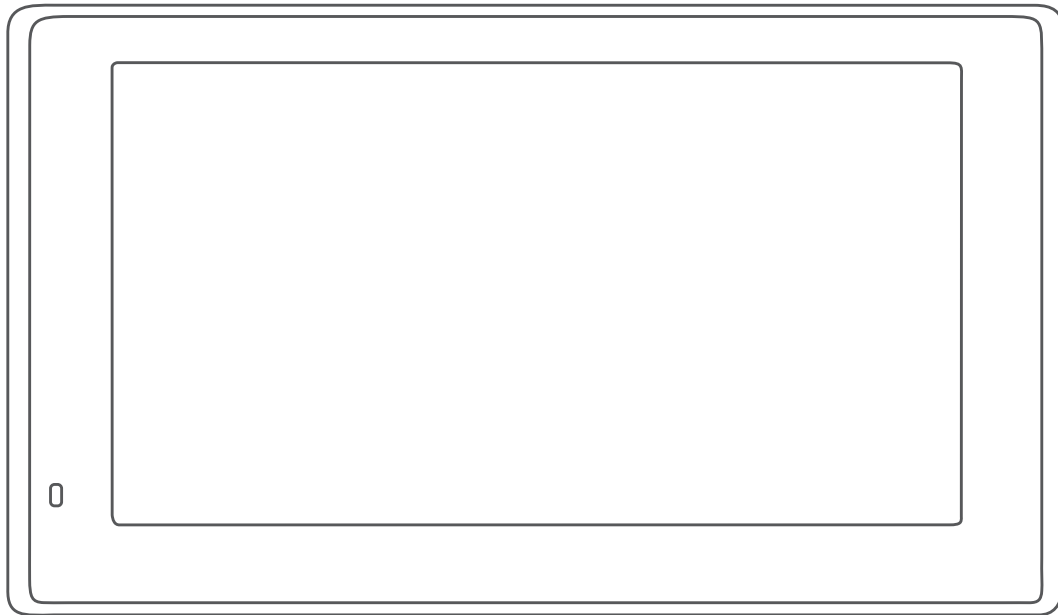




GARMIN DRIVESMART™ 51/61/7

マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Garmin DriveSmart™、Garmin Express™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。HD Radio™技術は、iBiquity Digital Corporation からライセンスに基づき開発されています。米国および外国特許。特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。HD Radio®および HD、HD Radio および「ARC」ロゴは、iBiquity Digital Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC.の商標です。TripAdvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Windows®、Windows Vista®、および Windows XP®は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
Garmin DriveSmart 61 デバイスの概要	1
車両への Garmin DriveSmart デバイスの取り付けと電源の供給	1
デバイスの電源をオンまたはオフにする	1
GPS 信号を捕捉する	1
ステータスバーアイコン	1
オンスクリーンボタンを使用する	1
音量を調整する	2
自動音量を有効化する	2
オーディオミキサーを使用する	2
画面の輝度を調整する	2
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	2
オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする	2
赤信号カメラとスピードカメラ	2
目的地へのナビゲーション	2
ルート	2
ナビゲーションを開始する	3
地図を使用してナビゲーションを開始する	3
帰宅する	3
地図上のルート	3
アクティブ車線案内	3
方向転換と方向指示を表示する	3
地図にルート全体を表示する	3
目的地に到着する	3
目的地の近くの駐車場	4
Garmin ウォッチを使用して目的地を検索する	4
最後に駐車した場所を検索する	4
アクティブルートを変更する	4
ルートに場所を追加する	4
ルートを形成する	4
迂回路を検索する	5
ルート探索方法を変更する	5
ナビゲーションを停止する	5
推奨ルートを利用する	5
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	5
ルート上の交通遅延を回避する	5
有料道路を回避する	5
有料ステッカーを回避する	5
道路の回避機能	5
環境ゾーンを回避する	5
カスタム回避	5
直行ルートナビゲーションする	6
位置の検索と保存を行う	6
ジャンル別施設	6
検索バーを使用して位置を検索する	6
カテゴリを入力して位置を検索する	6
カテゴリ内を検索する	6
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	6
場所検索の結果	7
地図上の場所検索結果	7
検索エリアを変更する	7
駐車場	7
現在の場所近くの駐車場を検索する	7
指定した場所近くの駐車場を検索する	7
駐車場の色分けと記号について	7
検索ツール	7
住所を検索する	7
交差点を検索する	8
都市を検索する	8
座標を使用して位置を検索する	8
Foursquare	8

Foursquare アカウントに接続する	8
Foursquare のジャンル別施設を検索する	8
Foursquare の場所の詳細を表示する	8
Foursquare によるチェックイン	8
TripAdvisor®	8
TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	8
最近検索した位置を表示する	8
最近検索した場所のリストを消去する	8
現在地情報を表示する	8
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	8
現在地への道順を表示する	8
ショートカットを追加する	8
ショートカットを削除する	9
位置を保存する	9
位置を保存する	9
現在地を保存する	9
保存した位置を編集する	9
保存した位置にカテゴリを割り当てる	9
保存した位置を削除する	9
地図を使用する	9
地図ツール	9
地図ツールを表示する	9
地図ツールを有効にする	9
この先	10
この先の場所を表示する	10
[この先] カテゴリをカスタマイズする	10
トリップ情報	10
地図からトリップデータを表示する	10
トリップ情報ページを表示する	10
軌跡ログを表示する	10
トリップ情報をリセットする	10
進行方向の交通事故を表示する	10
地図上に交通渋滞情報を表示する	10
交通事故情報を検索する	10
地図をカスタマイズする	10
地図レイヤーをカスタマイズする	10
地図データフィールドを変更する	10
地図表示方法を変更する	10
ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能	11
電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う	11
Bluetooth 機能のステータスアイコン	11
Garmin ライブサービス	11
Garmin ライブサービスに申し込む	11
スマートフォンからデバイスに位置を送信する	11
スマート通知	12
通知を受信する	12
通知のリストを表示する	12
ハンズフリー通話	12
電話をかける	12
電話を受ける	12
通話履歴を使用する	13
通話中オプションを使用する	13
自宅の電話番号を保存する	13
Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする	13
Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する	13
Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする	13
Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする	13
Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする	13
Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する	13
Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする	13
Bluetooth デバイスの取り外し	14

ペアリングした電話を削除する	14	規制およびコンプライアンス情報の表示	20
[トラフィック]	14	仕様	20
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する	14	デバイスを充電する	20
トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する	14	デバイスのメンテナンス	20
トラフィックレシーバーサブスクリプション	14	Garmin サポートセンター	20
トラフィックを有効にする	14	地図やソフトウェアの更新	20
地図上に交通渋滞情報を表示する	15	Wi-Fi ネットワークへの接続	20
交通事故情報を検索する	15	Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	20
音声コマンド	15	Garmin Express による地図とソフトウェアの更新	21
ウェイクアップフレーズを設定する	15	デバイスのお手入れ	21
音声コマンドを有効化する	15	外側ケースのクリーニング	21
音声コマンドのヒント	15	タッチスクリーンのクリーニング	21
音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する	15	盗難防止	21
ミュートの手順	15	デバイスをリセットする	21
音声制御	15	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	22
音声制御の設定	15	マウントからデバイスを取り外す	22
音声制御の使用	15	吸着カップからマウントを取り外す	22
音声制御のヒント	15	フロントガラスから吸着カップを取り外す	22
アプリケーションを使用する	15	車両電源ケーブルのヒューズを交換する	22
デバイスのマニュアルの表示	15	トラブルシューティング	22
Watch Link	15	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	22
Watch Link の設定	16	デバイスで衛星信号を受信できない	22
ドライバアラートをウォッチで受信する	16	デバイスを車両で充電できない	22
LiveTrack	16	充電しても電池の電力が長持ちしない	22
LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する	16	デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません	22
LiveTrack 共有の開始	16	Smartphone Link アプリは、スマートフォンのバッテリー充電レベルに影響を及ぼします。	22
天気予報を表示する	16	付録	23
別の都市周辺の天気を表示する	17	地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	23
気象観測レーダーを表示する	17	データ管理	23
気象警報を表示する	17	メモリーカードについて	23
道路状況を確認する	17	デバイスをコンピュータに接続する	23
トリッププランナー	17	コンピュータからデータを転送する	23
トリップを計画する	17	USB ケーブルを取り外す	23
トリップの場所を編集および並べ替える	17	GPS 信号ステータスを表示する	23
トリップの経路にあるアトラクションの発見	17	追加の地図を購入する	23
トリップのルート探索オプションを変更する	17	アクセサリを購入する	23
保存されているトリップをナビゲーションする	17	索引	24
アクティブルートを編集および保存する	17		
photoLive トラフィックカメラ	17		
photoLive トラフィックカメラの表示と保存	18		
地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する	18		
トラフィックカメラを保存する	18		
前のルートと目的地を表示する	18		
Garmin DriveSmart 設定	18		
地図および車両設定	18		
地図を有効にする	18		
ナビゲーション設定	18		
計算モードの設定	18		
シミュレートされた場所を設定する	18		
ワイヤレスネットワーク設定	18		
運転者支援の設定	19		
バックアップカメラ設定	19		
babyCam 設定	19		
ディスプレイ設定	19		
トラフィック設定	19		
単位および時間設定	19		
時間を設定する	19		
言語およびキーボード設定	19		
近接アラート設定	19		
デバイスおよびプライバシー設定	19		
設定を初期化する	20		
デバイス情報	20		

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- デバイスの地図とソフトウェアを更新します (地図やソフトウェアの更新, 20 ページ)。
- 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します (車両への Garmin DriveSmart デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 1 ページ)。
- 音量を調整し (音量を調整する, 2 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 2 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 3 ページ)。

デバイスの概要

Garmin DriveSmart 61 デバイスの概要



①	電源キー
②	USB 電源およびデータポート
③	地図およびデータメモ리카ードスロット
④	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク

車両への Garmin DriveSmart デバイスの取り付けと電源の供給

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 車両電源ケーブル①をデバイスの USB ポートに接続します。



- 2 マウント②が吸着カップ③にはまるまで押し込みます。
- 3 吸着カップをフロントガラスに取り付け、レバー④をフロントガラス方向に倒します。
- 4 マウントの上部にあるタブをデバイスの裏側にあるスロットにはめ込みます。
- 5 マウントの底面をカチッと音がするまでデバイスに押し込んでください。

- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キーを押すか、デバイスを電源に接続します。
- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。
省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、オフを選択します。
5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス。GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 23 ページ)。
	Bluetooth® テクノロジーのステータス。Bluetooth の設定を表示するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 18 ページ)。
	Wi-Fi 信号強度。Wi-Fi 設定を変更するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 18 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み。電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 12 ページ)。
9:10A	現在の時刻。時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 19 ページ)。
	バッテリー充電レベル。
	LiveTrack データの共有。アイコンに招待された閲覧者の数が表示されます。選択して LiveTrack アプリを開きます (LiveTrack, 16 ページ)。
	Smartphone Link ステータス。選択して Smartphone Link アプリに接続し、ライブトラフィックデータとその他のライブサービスを受信します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。
53°C	温度。天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 16 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

- **🏠** を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- **🏠** を押し続けると、すばやくメインメニューに戻ります。
- **↑** または **↓** を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- **↑** または **↓** を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- **☰** を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテンツスペースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 音量を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - スライダーを使用して、音量を調整します。
 - デバイスをミュート（消音）にするには、**🔇** を選択します。
 - 追加オプションを表示するには、**⋮** を選択します。

自動音量を有効化する

デバイスは、周囲のノイズレベルに基づいて、音量を自動的に上げたり下げたりすることができます。

- 1 音量 > **🔊** を選択します。
- 2 自動音量を選択します。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

- 1 音量を選択します。
- 2 **🔊** > オーディオミキサーを選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

- 1 設定 > 表示 > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

注記

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin®は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン/オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度（利用可能な場合）を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づく、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります（**トラフィック**、14 ページ）。

疲労警告: 停止しないで2時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする

一部の運転者アラートについて通知音をオン/オフできます。音声を無効にしても、視覚アラートは表示されます。

- 1 設定 > 安全運転支援 > オーディオドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づく、アラートされます。

- ライブの赤信号データとスピードカメラデータは、Smartphone Link アプリを使用した Garmin ライブサービスからサブスクリプションとして利用できます（**Garmin ライブサービス**、11 ページ）。
- 赤信号カメラやスピードカメラの位置のデータベースを最新の状態で維持するには、スピードカメラのデータをダウンロードして保存できるようにするため、デバイスにアクティブなサブスクリプションが必要です。garmin.com/speedcameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップデート（1 回限りの更新）を行ったりできます。新しい地域を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。

注: 一部の地域の製品バンドルでは、赤信号カメラとスピードカメラのデータが事前にロードされていて、サブスクリプション無料で更新される場合があります。

- Garmin Express™ ソフトウェア（garmin.com/express）を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード（**ルート探索方法を変更する**、5 ページ）や回避（**遅延、有料道路、およびエリアを回避する**、5 ページ）などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。

- ・ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (**ナビゲーションを開始する**, 3 ページ)。
- ・使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (**ルートを形成する**, 4 ページ)。
- ・ルートに複数の目的地を追加できます (**ルートに場所を追加する**, 4 ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します (**位置の検索と保存を行う**, 6 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - ・推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - ・代替ルートを指定するには、**Y**を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ・ルートの経路を編集するには、**Y > ルートの編集**を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (**ルートを形成する**, 4 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (**地図上のルート**, 3 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (**ルートに場所を追加する**, 4 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要の場合は、**Q** を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー (**Q** または青いドット) が表示されます。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - ・位置マーカーを選択します。
 - ・ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 出発を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

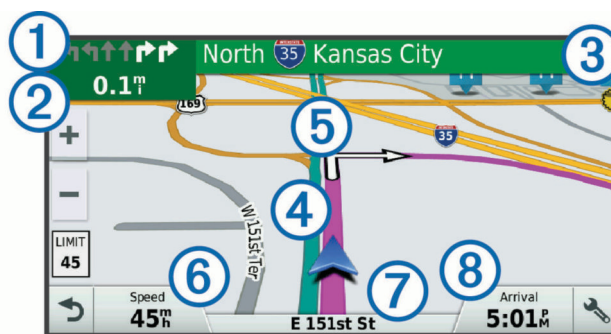
- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 > **三** > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

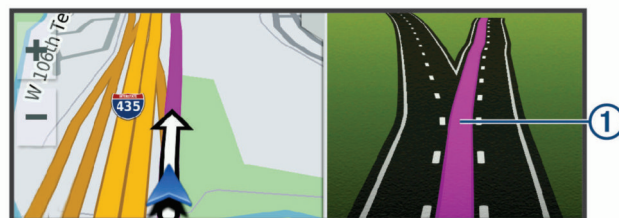
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび (利用可能な場合) 走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント: このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます (地図データフィールドを変更する , 10 ページ)。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づく、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

- 1 地図から、オプションを選択します。
 - ・ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、**三 > 方向転換**を選択します。
地図ツールで、地図の横に次の4つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
 - ・ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。
- 2 方向転換または方向指示を選択します (オプション) 。
詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

- 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- 2 **三** を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づく、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- ・ **三** は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。

- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます (**目的地の近くの駐車場**, 4 ページ)。
- 目的地から遠く離れて駐車または停車する必要がある場合、Garmin DriveSmart デバイスまたは互換性のある Connect IQ™ を搭載した Garmin ウォッチを使用して目的地まで徒歩で進むことができます (**Garmin ウォッチを使用して目的地を検索する**, 4 ページ)。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルート自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

- 1 次のの中からオプションを選択します。
 - デバイスに確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して近くの駐車場を検索します。
 - デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順**に選択し、**📍 > 目的地周辺**を選択します。
- 2 **駐車場をフィルタリング**を選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

- 3 駐車場を選択し、**出発 > 次の経由地を追加**の順に選択します。デバイスは、駐車場にガイドします。

車両を駐車した後、Garmin DriveSmart デバイスまたは互換性のある Connect IQ を搭載した Garmin ウォッチを使用して目的地まで徒歩で進むことができます (**Garmin ウォッチを使用して目的地を検索する**, 4 ページ)。車両に戻るときは、デバイスまたは Garmin ウォッチでこの駐車場に戻ることもできます (**最後に駐車した場所を検索する**, 4 ページ)。

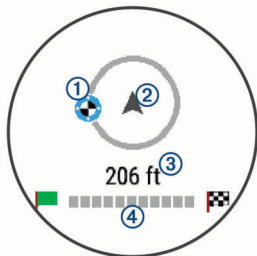
Garmin ウォッチを使用して目的地を検索する

この機能を使用する前に、Watch Link をセットアップする必要があります (**Watch Link の設定**, 16 ページ)。

互換性のある Garmin ウォッチを使用して車両から目的地へ、または目的地から車両へナビゲーションすることができます。この機能は、大規模な会場内の場所を検索する場合や目的地から離れて駐車し、目的地に徒歩で移動して終了する必要がある場合に特に便利です。

注：GPS 技術は、上空に障害物がないことが必要です。Watch Link アプリは、ショッピングモールや空港など、屋内の施設でガイドランスを提供できない場合があります。

- 1 ウォッチで、Watch Link アプリを起動し、**目的地を検索**を選択します。
ウォッチが GPS 信号を捕捉し、目的地へのガイドを開始します。
- 2 目的地に向かって歩きます。



目的地インジケータ①は、移動している方向②に対する目的地の相対的な方向を示しています。目的地インジケータが円の上部に表示されたら、目的地に向かって歩きます。目的地ま

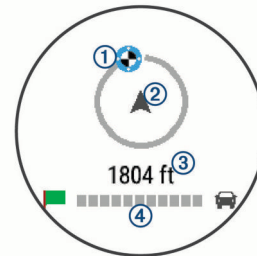
での残りの距離③が円の下に表示されます。進行状況バー④により目的地までの進行状況を示します。

最後に駐車した場所を検索する

車両電源から Garmin DriveSmart デバイスを取り外すと、デバイスは現在の場所を駐車場所として保存します。Watch Link をセットアップした場合、デバイスは駐車場所の位置を互換性のある Garmin ウォッチに送信します (**Watch Link の設定**, 16 ページ)。Garmin DriveSmart デバイスまたはウォッチの Watch Link アプリを使って、駐車場所に戻ることができます。

ヒント：Garmin DriveSmart デバイスがイグニッションスイッチ連動の電源コンセントに接続されている場合、デバイスは車両の電源を切るたびに駐車場所を保存します。デバイスがイグニッションスイッチと連動していない電源コンセントに接続されている場合、駐車場所を保存するには、車両電源ケーブルを抜く必要があります。

- Garmin DriveSmart デバイスで、**アプケーション > 最後の場所 > 出発**の順に選択します。
- ウォッチで、Watch Link アプリを起動し、**車を検索**を選択し、駐車場所に向かって歩きます。



目的地インジケータ①は、移動している方向②に対する目的地の相対的な方向を示しています。目的地インジケータが円の上部に表示されたら、目的地に向かって歩きます。目的地までの残りの距離③が円の下に表示されます。進行状況バー④により目的地までの進行状況を示します。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行する必要があります (**ナビゲーションを開始する**, 3 ページ)。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます (**トリップを計画する**, 17 ページ)。

- 1 地図から、**📍 > 目的地検索**を選択します。
- 2 位置を検索します (**位置の検索と保存を行う**, 6 ページ)。
- 3 位置を選択します。
- 4 **出発**を選択します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。
 - 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります (**ナビゲーションを開始する**, 3 ページ)。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルー

トの方向を選択することや特定の地域を通過することができません。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2  を選択します。
デバイスがルートシェイピングモードになります。
- 3 地図上で位置を選択します。
ヒント:  を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。
- 4 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - シェイピングポイントを削除するには、 を選択します。
- 5 ルートの形成が完了したら、**出発**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で:**> ルートの変更**を選択します。
ヒント: ルートの変更ツールが [地図ツール] メニューにない場合は追加できます (**地図ツールを有効にする, 9 ページ**)。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。
 - 新しいルートを検索するには、**迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 **設定 > ナビゲーション > 計算モード**の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - **距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

地図で、**> 停止**を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります (**デバイスおよびプライバシー設定, 19 ページ**)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります (**Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 14 ページ**)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [トラフィック設定] でこのオプションを無効にしている場合 (**トラフィック設定, 19 ページ**)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、**> トラフィック**を選択します。
- 2 **代替ルート**を選択します (利用可能な場合)。
- 3 **出発**を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 **設定 > ナビゲーション**の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
注: メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。
 - **有料道路**を選択します。
 - **通行料金 > 有料道路**を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。
- 4 **保存**を選択します。

有料ステッカーを回避する

注: この機能を利用できない地域もあります。

国によっては、デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれる場合があります。国ごとに有料ステッカーを回避または許可できます。

- 1 **設定 > ナビゲーション > 通行料金 > 料金ステッカー**を選択します。
- 2 国を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
 - 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。
- 4 **保存**を選択します。

道路の回避機能

- 1 **設定 > ナビゲーション > 回避**の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存**を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

- 1 **設定 > ナビゲーション > 環境ゾーン**の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
 - 環境ゾーンを常に回避するには、**回避**を選択します。
 - 環境ゾーンを常に許可するには、**許可**を選択します。
- 3 **保存**を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1 **設定 > ナビゲーション > カスタム回避**の順に選択します。
- 2 **回避道路の追加**を選択します。
- 3 回避する道路区域の始点を選択し、**次へ**を選択します。
- 4 道路区域の終点を選択し、**次へ**を選択します。

5 OKを選択します。

エリアを回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 OKを選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3 ≡ > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、を選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、≡ > 削除の順に選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

- 1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。
- 2 計算モード > 直行 > 保存の順に選択します。
次のルートは、目的地への直線ルートとして計算されます。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します (検索バーを使用して位置を検索する, 6 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します (ジャンル別施設, 6 ページ)。
- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 8 ページ)。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します (検索ツール, 7 ページ)。
- 別の都市または地域の周辺を検索します (検索エリアを変更する, 7 ページ)。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます (位置を保存する, 9 ページ)。
- 最近検索した場所にに戻ります (最近検索した位置を表示する, 8 ページ)。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで 検索の入力を選択します。

- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、Q を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の入力を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、Q を選択して、手順3に進みます。
 - POIを検索するには、POIの名前を入力し、Qを選択して、手順5に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 POIを選択し、出発を選択します。

デバイスは、POIの周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェッカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にあるPOIの位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 ⓘ > この場所を詳細に調査するを選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② ⓘ	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ P	選択して、場所の近くの駐車場を検索します。
④ Y	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑤ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑥ 地図	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、地図アイコンを選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤ 地図	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 ⓘを選択します。
- 3 オプションを選択します。

駐車場

Garmin DriveSmart デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

一部の地域では、Garmin DriveSmart デバイスを Smartphone Link に接続しているときにライブパーキングデータを入手できます (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う、11 ページ)。デバイスがライブパーキングデータを受信中に、リアルタイムパーキングトレンドを表示できます。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。Garmin は、ライブパーキングデータの正確性または適時性について責任を負いません。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 位置情報を検索します。
- 2 位置検索結果から位置を選択します。

- 3 Pを選択します。

選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。

- 4 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

- 5 駐車場を選択します。
- 6 出発を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ (路上またはパーキングロット)、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、①を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、ⓘ 周辺の検索：を選択して別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 アドレスを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

都市を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 都市の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 周辺都市のリストから都市を選択します。
 - ・ 別の場所の周辺を検索するには、**周辺の検索: (検索エリアを変更する, 7 ページ)**を選択します。
 - ・ 名前でも都市を検索するには、**検索の入力**を選択し、都市名を入力して、Qを選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて、を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare アカウントに接続する

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します (**電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ**)。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。
- 3 Smartphone Link アプリ設定を開き、**Foursquare® > Login**を選択します。
- 4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリー > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 **①**を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

- 1 **77 リケーション > Foursquare® > チェックイン**を選択します。

- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **① > チェックイン**を選択します。

TripAdvisor®

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > TripAdvisor の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、**結果を並べ替える**を選択します (オプション)。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > **三** > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。
注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**①**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 **三** > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 **選択**を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。

2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 > ≡ > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 保存を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 6 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 ⓘ > 保存を選択します。
- 4 名前を入力し、OK を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、OK を選択します。
- 4 OK を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 ⓘ を選択します。
- 5 ≡ > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - 名前を選択します。
 - 電話番号を選択します。
 - カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 OK を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリーが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 ⓘ を選択します。
- 4 ≡ > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 OK を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 ≡ > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと (地図上のルート, 3 ページ) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、+ または - を選択します。
 - ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、▲ を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、Q を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発 (地図を使用してナビゲーションを開始する, 3 ページ) を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの変更: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します (この先, 10 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します (方向転換と方向指示を表示する, 3 ページ)。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します (地図からトリップデータを表示する, 10 ページ)。

音量: マスターオーディオ音量を調節します。

輝度: 画面の輝度を調節します。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します (通話中オプションを使用する, 13 ページ)。

LiveTrack: LiveTrack の共有を開始および停止できます (LiveTrack, 16 ページ)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します (進行方向の交通事故を表示する, 10 ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLive サブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します (photoLive トラフィックカメラ, 17 ページ)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Smartphone Link アプリ (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。

地図ツールを表示する

- 1 地図で : を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、✕ を選択します。

地図ツールを有効にする

デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが [地図ツール] メニューで有効にされています。メニューには、最大 12 個のツールを追加できます。

- 1 地図で : > ⚙ を選択します。
- 2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。
- 3 保存を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から: > この先を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - 各カテゴリーの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて **■** を選択します。
 - この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、**📍** を選択します。
注: このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。
- 3 そのカテゴリー、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図から: > この先を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 **🔍** を選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 OKを選択します。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする, 9 ページ)。

地図で: > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする, 9 ページ)。

- 1 地図で: > 出張データを選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注: 経由地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、**スピード**を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。

- 2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード**を選択します。
- 2 **≡ > 74-11** の **11** の順に選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップデータの11**を選択します。
 - 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - オドメーターをリセットするには、**トリップBのリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、: > **トラフィック**を選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**77-11-11** > **トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡ > 11** を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**77-11-11** > **トラフィック**を選択します。
- 2 **≡ > 11** を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注: スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種別を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - トラックアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - 3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存**を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

Garmin DriveSmart デバイスを最大限に活用するには、デバイスをスマートフォンとペアリングし、Smartphone Link アプリに接続します。Smartphone Link アプリでは、ライブトラフィックデータ、駐車場の傾向、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブサービスのライブデータを受信できます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック](#), 14 ページ)。

ライブパーキング情報: 利用できる場合、リアルタイムの駐車場の傾向をお使いのデバイスに送信します ([駐車場](#), 7 ページ)。

Garmin ライブサービス: 赤信号カメラとスピードカメラ、またはトラフィックカメラなどのライブデータをデバイスに送信する、サブスクリプション無料および有料サービスを提供します ([Garmin ライブサービス](#), 11 ページ)。

天気情報: リアルタイムで気象条件とアラートをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), 16 ページ)。

LiveTrack: 選択した連絡先とリアルタイムでトリップを共有できます ([LiveTrack](#), 16 ページ)。

スマート通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

Watch Link: 互換性のある Connect IQ を搭載した Garmin ウォッチを使用して、目的地または駐車スポットまでの徒歩ナビゲーションガイダンスを提供します ([Watch Link](#), 15 ページ)。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます ([Foursquare によるチェックイン](#), 8 ページ)。

電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う

Garmin DriveSmart デバイスを電話機とペアリングして、Smartphone Link に接続すると、ライブトラフィックや駐車場情報、ハンズフリー通話、およびその他の接続機能などの機能を使用できます。

注: 末尾が LMT-D または LMT HD の製品モデルでは、Smartphone Link アプリまたは組み込みの無線デジタルトラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信できません。

デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 Garmin DriveSmart デバイスと電話の距離は 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 Garmin DriveSmart デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク**を選択し、**Bluetooth** チェックボックスをオンにします。
- 4 **デバイスの検索**を選択します。
- 5 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。
詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。
- 6 Garmin DriveSmart デバイスで **OK** を選択します。
Garmin DriveSmart デバイスが近くの Bluetooth デバイスの検索を開始し、Bluetooth デバイスのリストが表示されます。電話がリストに表示されるまで、最大 1 分かかることがあります。

7 リストから電話を選択し、**OK** を選択します。

8 電話で、ペアリング要求を確認します。

9 電話で Smartphone Link アプリを開きます。

Apple®デバイスとペアリングしている場合、Garmin DriveSmart の画面にセキュリティコードが表示されます。

10 必要に応じて、セキュリティコードを 30 秒以内に電話に入力します。

Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各電話の横に表示されます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

- グレーのアイコンは、その電話について、機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- 色の付いたアイコンは、その電話について、機能が接続されていて、アクティブになっていることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Smartphone Link の機能とサービス

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、デバイスを Smartphone Link に接続しておく必要があります ([電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う](#), 11 ページ)。

Garmin ライブサービスには、渋滞状況や天気、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブデータをデバイスで表示するための、無料またはサブスクリプションベースプランが用意されています。

サービスの中には天気などの、デバイスで独立したアプリとして使用できるものもあります。また、ライブトラフィックなど、デバイスに既に存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には、Smartphone Link 記号が、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

一部の Garmin DriveSmart ライブサービスには、有料サブスクリプションが必要です。Smartphone Link アプリでは、アプリ内課金でサブスクリプションを購入できます。サブスクリプションは、スマートフォンのアプリストアアカウントと関連付けられています。

1 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

2 **My Account** を選択します。

利用可能なサービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。

3 サービスを選択します。

4 価格を選択します。

5 **Subscribe** を選択します。

6 画面上の指示に従って、購入を完了します。

スマートフォンからデバイスに位置を送信する

電話の Smartphone Link アプリを使用して位置を検索し、Garmin DriveSmart デバイスに送信できます。

1 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 近い場所を検索するには、**Find Nearby Places** を選択して、住所またはその場所の名前を完全にまたは部分的に入力します。
- 近くにある Foursquare ジャンル別施設を検索するには、**Foursquare** を選択し、リストからジャンル別施設を選択します。
- 地図上の場所を選択するには、**Pick Location** を選択し、マップの場所をタッチします。

- 連絡先リストから住所を検索するには、**Search Contacts** を選択し、連絡先名を選択します。

選択された位置が地図上に表示されます。

3 Send を選択します。

Smartphone Link アプリにより、Garmin DriveSmart に場所が送信されます。

4 Garmin DriveSmart デバイスで、次の中からオプションを選択します。

- その場所までのナビゲーションが開始するには、**出発**を選択します。
- この場所の詳細を表示したり、場所をお気に入りに保存するには**①**を選択します。
- ナビゲーションを開始せずに場所を受け入れるには、**OK**を選択します。

この場所は、Garmin DriveSmart デバイスの最近検索した場所に表示されます。

スマート通知

デバイスが Smartphone Link アプリに接続されているときは、Garmin DriveSmart デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Smartphone Link アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (Bluetooth 機能のステータスアイコン, 11 ページ)。

通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

Garmin DriveSmart デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、**OK** を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、**表示**を選択します。
- 通知を聞くには、**表示 > 再生**の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

Garmin DriveSmart デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、**[X]** を選択するか、ポップアップの期限が切れるまで待ちます。

ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。

- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 音声コマンドを使用して通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。

注：このオプションが利用可能なのは、選択した言語で音声コマンド機能がサポートされていて、地図ツールに  が表示されているときだけです。

- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1 アプリケーション > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、**▶** を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 アプリケーション > 電話 > ダイアルの順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 ダイアルを選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 アプリケーション > 電話 > 電話帳の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 通話を選択します。

施設に電話をかける

- 1 アプリケーション > 電話 > カテゴリーを参照の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 通話を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答**または**無視**を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **777** リージョン > 電話 > 通話履歴の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。
- 3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中に、地図から通話中オプションを選択できます。

- 音声の出力先を電話に切り替えるには、を選択します。
ヒント：この機能は、通話中にデバイスの電源をオフにする場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、を選択します。
- 電話を切るには、を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#), 9 ページ）。

- 1 **777** リージョン > 電話 >  > 自宅電話番号の設定の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 OK を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

777 リージョン > 電話 > 自宅へ電話の順に選択します。

Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、Garmin DriveSmart デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できます。Smartphone Link アプリは Bluetooth 技術を利用して電話と通信します。Apple デバイス上の Smartphone Link アプリに初めて接続するときは、Bluetooth のセキュリティコードを入力する必要があります。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。

注：スマートフォンのオペレーティングシステムを最新バージョンに更新することが必要な場合があります。

- 2 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。
Garmin DriveSmart デバイスの画面に、セキュリティコードが表示されます。
- 3 スマートフォンでコードを入力します。

Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする

ハンズフリー通話を無効にしても、Smartphone Link のデータと通知のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 ハンズフリー通話に使用する電話名を選択します。

ヒント：電話では、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話とデータに接続することがあります。ハンズフリー通話に使用する電話名の横に、色の付いた  が表示されます。

- 3 通話チェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする

Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にしても、ハンズフリー通話のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。
ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に  と  が青で表示されます。
- 3 スマートフォンサービスチェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの通知カテゴリを表示または非表示にする

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。
ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に  と  が色付きで表示されます。
- 3 スマート通知を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、Garmin DriveSmart デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できます。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。
- 2 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。

Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする

特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ハンズフリー通話を無効にするには、**通話**チェックボックスをオフにします。
 - Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にするには、**Smartphone Link** チェックボックスをオフにします。
 - 特定のアプリ通知を無効にするには、Smartphone Link アプリの設定を使用します。

Android が搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする

Smartphone Link アプリを使用して、Garmin DriveSmart デバイスに表示する通知の種類を選択できます。

- 1 電話で Smartphone Link アプリを開きます。
- 2  を選択します。
- 3 **Smart Notifications** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 4 **通知セクション** から、**Settings** を選択します。
通知カテゴリとアプリのリストが表示されます。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 通知を有効または無効にするには、カテゴリまたはアプリ名の横にある切り替えスイッチを選択します。
 - リストにアプリを追加するには、**+** を選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も Garmin DriveSmart デバイスに自動的に接続できます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク** の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 ペアリングされているデバイスの名前の横にあるチェックボックスをオフにします。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク** の順に選択します。
- 2 電話を選択して、**ペアリングの解除**を選択します。

[トラフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます (**トラフィック設定**, 19 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- お使いのデバイスは Smartphone Link アプリを介してサブスクリプション無料のトラフィックデータを受信します (**Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する**, 14 ページ)。
- すべての製品モデルは、無線トラフィックレシーバーケーブルアクセサリを使用して、トラフィックデータを受信できます (**トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する**, 14 ページ)。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。
- 末尾が -D または HD の製品モデルは、内蔵のデジタルトラフィックレシーバーと付属の車両電源ケーブルを使用してトラフィックデータを受信できます (**トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する**, 14 ページ)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

お使いのデバイスは、Smartphone Link アプリを介してサブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。
- 2 Garmin DriveSmart デバイスで、**設定 > トラフィック** の順に選択し、**トラフィック** チェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることがあります。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックレシーバーケーブルはすべての製品モデルでアクセサリとして使用できます。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。トラフィックデータを利用できない地域もあります。

トラフィックレシーバーケーブルを使用してデバイスを車両電源に接続します (**車両への Garmin DriveSmart デバイスの取り付けと電源の供給**, 1 ページ)。

注: 末尾が LMT-D または LMTD の製品モデルの場合は、デバイスに付属の電源ケーブルを使用する必要があります。電源ケーブルは、内蔵デジタルトラフィックレシーバー用のアンテナを内蔵しています。可能な場合、デジタルトラフィックレシーバーは、HD Radio™ 技術を使用して FM ラジオ局からトラフィックデータを受信します。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックレシーバーサブスクリプション

地域のトラフィックデータサブスクリプションは、ほとんどのトラフィックレシーバーに付属しています。追加の地域のサブスクリプションをトラフィックレシーバーに追加できます。詳細については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > トラフィック > 購読 の順に選択します。

サブスクリプションを追加する

他の地域または国のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 メインメニューで、**トラフィック**を選択します。
- 2 **購読 > +** を選択します。
- 3 FM トラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、www.garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。
トラフィックサブスクリプションコードは再使用できません。サービスを更新するたびに新しいコードを取得する必要があります。複数の FM トラフィックレシーバーを持っている場合は、レシーバーそれぞれに個別のコードを取得する必要があります。
- 5 デバイスで **次へ** を選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 **OK** を選択します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 **設定 > トラフィック** の順に選択します。

2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**77 リケーション > トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡ > 凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**77 リケーション > トラフィック**を選択します。
- 2 **≡ > 事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド]メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは「音声コマンド」です。

ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 **77 リケーション > 音声コマンド > ㊦ > ウェイクアップフレーズの**順に選択します。
- 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が示されます。
- 3 OKを選択します。

音声コマンドを有効化する

ウェイクアップフレーズを発音します。

[音声コマンド]メニューが表示されます。

音声コマンドのヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する2つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- 1 ウェイクアップフレーズを発音します (**ウェイクアップフレーズを設定する, 15 ページ**)。
- 2 **場所の検索**と発音します。
- 3 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
- 4 行番号を発音します。

5 ナビゲーションと発音します。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

- 1 **77 リケーション > 音声コマンド > ㊦**を選択します。
- 2 **指示をミュート (消音) にする > 有効**の順に選択します。

音声制御

音声コマンド機能が使用できない地域では、音声制御機能が有効化されます。音声制御機能を使用すると、音声によってデバイスを制御できるようになります。音声制御機能を使用するには、自分の音声で制御できるよう設定する必要があります。

音声制御の設定

ボイスコマンド機能は、1人のユーザーの音声で設定します。設定後は他のユーザーの音声は認識されません。

- 1 **77 リケーション > ボイスコマンド**の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、各音声制御フレーズのコマンドを記録します。

注：画面のフレーズのとおりに読む必要はありません。好みに応じて、同じ意味を持つ別のコマンドを発音することもできます。

音声制御機能を使用するには、その機能に対して記録したコマンドを発音する必要があります。

音声制御の使用

- 1 ボイスコマンドフレーズに対して記録したコマンドを発音します。

[音声制御]メニューが表示されます。

- 2 画面に表示される指示に従います。

音声制御のヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- デバイスがコマンドを正常に認識すると、トーンが1回鳴ります。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1 **77 リケーション > マニュアル**の順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます (**言語およびキーボード設定, 19 ページ**)。
- 2 **[Q]**を選択してマニュアルを検索します (オプション)。

Watch Link

Watch Link アプリは、お使いの Garmin DriveSmart デバイスのナビゲーション機能を、Connect IQ で互換性のある Garmin ウォッチに拡張します。

注：この機能は、Connect IQ アプリを実行できる Garmin ウォッチとスマートフォンを必要とします。

目的地を検索: ウォッチ画面を使用して目的地まで案内します。この機能は、目的地から離れて駐車し、徒歩でナビゲーションを終了する必要がある場合に特に役立ちます (**Garmin ウォッチを使用して目的地を検索する, 4 ページ**)。

車を検索: 車両の最後に記録された駐車スポットまで案内します (**最後に駐車した場所を検索する, 4 ページ**)。

運転者警告: デバイスにドライバー警告が表示されたときにウォッチが振動し、ウォッチ画面にアラートアイコンが表示され

ます (ドライバーアラートをウォッチで受信する, 16 ページ)。

Watch Link の設定

Watch Link をセットアップする前に、以下のタスクを完了する必要があります。

- お使いの Garmin DriveSmart デバイスをスマートフォンの Smartphone Link アプリとペアリングします (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。
- 互換性のある Garmin ウォッチをスマートフォンの Garmin Connect™ モバイルアプリとペアリングします。詳細については、ウォッチのマニュアルを参照してください。

Watch Link 機能は、スマートフォンを使用して、Garmin DriveSmart デバイスから互換性のある Connect IQ ウォッチの Watch Link アプリに情報を送信します。

- 1 スマートフォンで、Garmin Connect モバイルアプリを開きます。
- 2 スマートフォンのオペレーティングシステムに応じて、[≡] または [⋮] を選択してメニューを開きます。
- 3 **Connect IQ™ ストア**を選択します。
- 4 Watch Link アプリを検索し、**ダウンロード**を選択します。
Connect IQ Watch Link アプリがウォッチにインストールされます。
- 5 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。
- 6 **Watch Link** を選択します。
ヒント：左または右にスワイプして、Watch Link オプションを見つける必要がある場合があります。

- 7 リストからウォッチを選択し、**Continue** を選択します。

- 8 セットアップが完了したら、**OK** を選択します。

お使いの電話を Garmin DriveSmart デバイスに接続すると、Watch Link アプリがウォッチで自動的に起動します。

ドライバーアラートをウォッチで受信する

この機能を使用する前に、Watch Link をセットアップする必要があります (Watch Link の設定, 16 ページ)。

互換性のある Garmin ウォッチは、Garmin DriveSmart デバイスからの指定されたドライバーアラートを表示できます。ウォッチに表示するアラートを選択できます。

- 1 Garmin DriveSmart デバイスで、**77° リケーション > Watch Link** の順に選択します。
- 2 ウォッチで受信するアラートの各タイプを選択します。
- 3 ウォッチで、Watch Link アプリを起動し、**運転者警告**を選択します。

お使いの Garmin DriveSmart デバイスでナビゲーション中に、指定したドライバー警告が発生すると、ウォッチが振動し、指定したドライバー警告が表示されます。

LiveTrack

注記

位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

LiveTrack 機能を使用すると、トリップをスマートフォンの連絡先および Facebook や Twitter ソーシャルネットワーキングアカウントと共有することができます。共有中、視聴者は現在の場所、最近訪問した場所、最近走行した経路をリアルタイムで追跡できます。

この機能では、スマートフォンで Smartphone Link アプリを実行している必要があります。

LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する

LiveTrack 機能を初めて使用するときは、機能をセットアップして視聴者を招待する必要があります。

- 1 **Smartphone Link** に接続します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。

- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、**LiveTrack** を選択します。

- 3 ユーザー名を入力し、**次へ**を選択します。

- 4 招待する 1 つ以上の連絡先を入力します。
連絡先の名前またはメールアドレスを入力できます。

- 5 **LiveTrack を開始**を選択します。

アプリは、LiveTrack データの共有を開始します。招待された視聴者は、LiveTrack データを表示するリンクを含むメールを受信します。

- 6 [⬆] を選択し、ソーシャルネットワーク、メッセージングアプリまたはその他の共有アプリ (オプション) を使用して LiveTrack リンクを共有します。

LiveTrack 共有の開始

注記

位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

共有を開始する前に、LiveTrack 機能 (LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する, 16 ページ) を設定する必要があります。

お使いの Garmin DriveSmart デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用して、LiveTrack データ共有を開始できます。

- Garmin DriveSmart デバイスで、**77° リケーション > LiveTrack > LiveTrack を開始**の順に選択します。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを起動し、**LiveTrack > LiveTrack を開始**の順に選択します。

LiveTrack データを表示するリンクが有効化したソーシャルネットワークアカウントに投稿され、リンクが記載されたメールが招待した連絡先に送信されます。共有中、リンクをクリックすると閲覧者は現在地、最近訪れた場所、および最近のトラベルの経路をリアルタイムでトラッキングできます。

LiveTrack 共有がアクティブになると、Garmin DriveSmart ステータスバーに  が表示されます。招待された閲覧者の数も表示されます。

ヒント：デフォルトでは、24 時間後に LiveTrack 共有セッションが自動的に終了します。Smartphone Link アプリで、**LiveTrack > Extend LiveTrack** を選択して LiveTrack 共有セッションの時間を延長することも、共有をいつでも停止することもできます。

LiveTrack 共有の停止

お使いの Garmin DriveSmart デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用して、LiveTrack 共有をいつでも停止できます。

- Garmin DriveSmart デバイスで、**77° リケーション > LiveTrack > LiveTrack を停止**の順に選択します。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを起動し、**LiveTrack > LiveTrack を停止**の順に選択します。

閲覧者には LiveTrack セッションが終了したことを知らせるメッセージが送信され、ロケーションをトラッキングできなくなります。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Smartphone Link アプリに接続して、天気予報データを受信できます (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。一部の地域では、デジタルトラフィックレシーバーが組み込まれている製品モデルで、HD Radio 技術を使用した FM 局から地域の天気情報を受信できます ([**トラフィック**], 14 ページ)。天気予報を利用できない地域もあります。

- 1 **77° リケーション > 天気**を選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。

- 2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **天気** > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

地図上に現在の天候が色分けされたアニメーションで表示され、天気アイコンも表示されます。天気アイコンが、雨、雪、雷雨など、近隣の天候の表示に変化します。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > **気象観測レーダー**を選択します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > **気象警報**の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > **道路状況**を選択します。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができ、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **トリッププランナ** > **新規トリップの作成**の順に選択します。
- 2 **出発地の選択**を選択します。
- 3 始点を指定し、**選択**を選択します。
- 4 **目的地の選択**を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、**選択**を選択します。
- 6 **場所の追加**を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、**次へ** > **保存**の順に選択します。
- 8 名前を入力し、**OK**を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **トリッププランナ** > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を上下に移動するには、**⇅**を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、**⊕**を選択します。
 - 場所を削除するには、**✖**を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、**☰** > **順序の最適化**を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いまたは人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集時に、**☰** > **トリップの設定** > **アトラクションの提案**を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 **選択**を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **トリッププランナ** > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 **☰** > **トリップの設定**を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - トリップにシェイピングポイントを追加するには、**ルートを形成する**を選択し、画面に表示される指示に従います (**ルートを形成する**, 4 ページ)。
 - トリップの計算モードを変更するには、**ルート探索方法**を選択します (**ルート探索方法を変更する**, 5 ページ)。

保存されているトリップをナビゲーションする

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **トリッププランナ** > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 **出発**を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**開始**を選択します。
デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** > **トリッププランナ** > **マイアクティブルート**の順に選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、**保存**を選択します。
ナビゲーションは後で再開できます (オプション)。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、Smartphone Link に接続する必要があります。また、photoLive サービスにサブスクライブする (Garmin ライブサービスに申し込む, 11 ページ) 必要があります。

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。

photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。

1 **77° リケーション** > **photoLive** の順に選択します。

2 **触れて追加**を選択します。

3 道路を選択します。

4 トラフィックカメラの場所を選択します。

カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。

5 **保存**を選択して、カメラを保存します (オプション)。

photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

1 地図で、**77° リケーション** > **photoLive** を選択します。

通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。

2 その通りにカメラが見つからない場合、**カメラを探す**を選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します (オプション)。

トラフィックカメラを保存する

1 **77° リケーション** > **photoLive** を選択します。

2 **触れて追加**を選択します。

3 道路を選択します。

4 交差点を選択します。

5 **保存**を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 19 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

77° リケーション > **目的地の履歴**を選択します。

Garmin DriveSmart 設定

地図および車両設定

設定 > **地図 / 車両**の順に選択します。

車両: 地図上での自分の位置を表すアイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します (**地図レイヤーをカスタマイズする**, 10 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 **設定** > **地図 / 車両** > **マイマップ**の順に選択します。

2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > **ナビゲーション**の順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > **ナビゲーション** > **計算モード**の順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

1 **設定** > **ナビゲーション** > **GPS シミュレーター**を選択します。

2 メインメニューで、**地図表示**を選択します。

3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。

この位置の住所が画面の下部に表示されます。

4 位置の説明を選択します。

5 **現在地変更**を選択します。

ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワーク設定では、Wi-Fi ネットワーク、ペアリングされている Bluetooth デバイス、および Bluetooth 機能を管理できます。

設定 > **ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

ペアリングされているデバイスの名前: ペアリングされている Bluetooth デバイスの名前はメニューに表示されます。デバイスの名前を選択して、そのデバイスの Bluetooth 機能の設定を変更できます。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリー名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します (Wi-Fi ネットワークへの接続, 20 ページ)。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

オーディブルドライバーアラート: 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート](#), 2 ページ)。

疲労警告: 休憩なしに長時間運転を続けると警告します。

スピードカメラアラート: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

バックアップカメラ設定

バックアップカメラ設定で、ペアリングされた Garmin バックアップカメラの管理と設定を行えます。このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。カメラのペアリングと設定についての詳細は、バックアップカメラのマニュアルを参照してください。 garmin.com/babycam にアクセスして、Garmin バックアップカメラを購入します。

設定 > バックアップカメラの順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。表示する前にデバイスとケーブルを使用して再度カメラをペアリングする必要があります。

名前を変更: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

ガイダンスライン: ガイダンスラインを表示または非表示にしたり、ガイダンスラインの位置を調整できます。

babyCam 設定

babyCam 設定で、ペアリングされた Garmin babyCam™カメラの管理と設定を行えます。このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。カメラのペアリングとカメラの設定についての詳細は、お使いのカメラのマニュアルを参照してください。 garmin.com/babycam に移動して Garmin babyCam カメラを購入します。

設定 > babyCam の順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

電源の設定: ビデオを画面に表示する時間を設定できます。

ビデオを反転: ビデオを上下または左右に反転できます。

整列: babyCam ビデオを表示してカメラを整列できます。

シート確認を確認: 降車する前に後部座席の乗員をチェックするように促します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。

名前を変更: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

ディスプレイ設定

設定 > 表示の順に選択します。

方向: ディスプレイをポートレート (縦) またはランドスケープ (横) に設定します。

注: この機能を利用できない製品モデルもあります。

デザイン: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、**設定 > トラフィック**の順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

購読: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: デバイスが最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する](#), 5 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、**設定 > 単位 / 時間**の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻の形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動**を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから**設定 > 言語 / キーボード**を選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

近接アラート設定

注: 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注: この機能を利用できない地域もあります。

設定 > 安全運転支援 > スピードカメラアラートの順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

デバイスおよびプライバシー設定

設定 > デバイスの順に選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

法規: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注：システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

位置レポート: 位置情報を Garmin と共有してコンテンツの品質を向上させます。

走行履歴: デバイスで myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3 **三** > 初期化の順に選択します。

デバイス情報

規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 **デバイス > 法規**の順に選択します。

仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
無線周波数 (Garmin DriveSmart 51)	2.4 GHz @ 20 dBm
無線周波数 (Garmin DriveSmart 61)	2.4 GHz @ 17 dBm
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
電池タイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態

に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます (garmin.com/express)。このオプションでは、更新された地図が内部ストレージに対して大きすぎる場合にメモリーカードにインストールできます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 必要に応じて、Wi-Fi を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 ネットワークを検索を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、OK を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常、データ制限や料金プランがインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスが接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (Wi-Fi ネットワークへの接続, 20 ページ)。
Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合は、**更新**アイコンが表示されます。
- 2 設定 > 更新の順に選択します。
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**利用可能な更新**が地図またはソフトウェアの下に表示されます。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
 - 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
 - ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。
注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスの外部電源に接続して**継続 (デバイスを充電する, 20 ページ)**。

最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (**Garmin Express をインストールする, 21 ページ**)。

- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。

- 3 mini-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。

ケーブルの小さい方の端は Garmin DriveSmart デバイスの mini-USB ポート①に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin DriveSmart デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

- 5 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。

- 6 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。

セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



- 7 次のの中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります (**地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 23 ページ**)。

- 8 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows®および Mac®コンピュータで利用できます。

- 1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

- 2 次のの中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。

- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース(タッチスクリーン以外)を拭きます。

- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの下面を上に向けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (車両への Garmin DriveSmart デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 18 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 22 ページ)。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 19 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 19 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 2 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワーク設定, 18 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 1 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません

- 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- 電話で Bluetooth 無線技術の有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持てきます。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、[■ > ►] を選択して Smartphone Link バックグラウンドサービスを再起動します。
- お使いの電話が対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペ어링プロセスを再度完了します。
ペ어링プロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペ어링を解除して (ペ어링した電話を削除する, 14 ページ)、ペ어링プロセスを完了する必要があります (電話とのペ어링と Smartphone Link への接続を行う, 11 ページ)。

Smartphone Link アプリは、スマートフォンのバッテリー充電レベルに影響を及ぼします。

Smartphone Link アプリは、Bluetooth 無線技術を使用して、デバイスとデータを送受信します。アクティブな Bluetooth 接続がバッテリー電力をいくらか消費するのは正常です。このアプリは、利用可能なサービスの更新がないか定期的にチェックするので、バッテリー電力を追加で消費することがあります。

Smartphone Link アプリでバッテリー使用量の設定を変更して、アプリが使用するバッテリー電力の量を減らすことができます。

- 1 スマートフォンの Smartphone Link アプリで、[⚙] を選択します。
- 2 Battery Usage セクションまでスクロールし、Settings を選択します。
- 3 オプションを選択します (複数可)。
 - Bluetooth Auto-Connect チェックボックスをオフにします。
このオプションを無効にすると、バッテリー電力を少量節約できますが、アプリは Garmin DriveSmart デバイスに自動的に接続できなくなります。このオプションが無効になっている場合は、デバイスを Smartphone Link に接続するたびに Smartphone Link メインメニューから ► を選択する必要があります。
 - Live Services Check チェックボックスをオフにします。
一部のスマートフォンでは、このオプションを無効にすると、アプリで使用されるバッテリー電力を大幅に減らすことができます。このオプションが無効の場合は、Smartphone Link メインメニューを手動で更新して、利用できるライブサービスに関する更新情報を受信する必要があります。

付録

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~32 GB の microSD メモリカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します ([デバイスの概要](#), 1 ページ)。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows 95、98、Me、Windows NT®、および Mac OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 Garmin DriveSmart デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する](#), 23 ページ)。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 **[編集]** > **[コピー]** の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

- 6 **[編集]** > **[貼り付け]** の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。

- Windows コンピュータの場合、システムトレイの **[ハードウェアの安全な取り外し]** アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Mac コンピュータの場合は、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。

- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 **[マップ]** タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

索引

記号

トラフィックカメラ, 表示 18
2D 地図表示 10
3D 地図表示 10

A

アイコン, ステータスバー 1
赤信号カメラ 2
アクセサリ 23
アクティブ車線案内 3
アラート 2
 近接ポイント 19
 オーディオ 19

B

バックアップカメラ 19
場所 7
場所を検索する. 7 関連項目 位置
 住所 7
 都市 8
バッテリー
 充電 1, 20, 22
 問題 22
 最大化 22

C

地図 3, 9, 10, 18
 データフィールド 3, 10
 記号 3
 購入 23
 更新 20, 21
 ルートを表示する 3
 詳細度 18
 テーマ 18
 ツール 9
 レイヤー 10
地図表示
 2D 10
 3D 10

D

デバイスのクリーニング 21
デバイスのお手入れ 21
デバイスの取り付け
 自動車 1
 吸盤 1
 吸着カップ 22
 マウントから取り外す 22
デバイスを充電する 1, 20, 22
電源ケーブル 20
 ヒューズ交換 22
 車両 1
電源キー 1
電話
 ペアリング 11, 22
 取り外し 14
電話に応答する 12
電話をかける 12, 13
 電話に応答する 12
 自宅 13
 かける 12
 ダイヤルする 12
 履歴 13
 連絡先 12
ディスプレイ設定 19
道路状況, 天気 17
ドライバーアラート 2, 16

E

衛星信号
 捕捉 1
 表示 23
EULA 19

F

ファイル, 転送する 23
Foursquare 8

G

Garmin Connect 11
Garmin Express 21
 ソフトウェアを更新する 21
言語
 キーボード 19
 音声 19
[現在地の確認] 8
Bluetooth 技術 11, 12, 22
 デバイスの取り外し 14
 電話の管理 13
 電話とのペアリング 11
 設定 18
 通話の無効化 13
GPS 1, 23

H

ハンズフリー通話 11, 13
編集, 保存されたトリップ 17
方向 3
方向転換地点 3
保存した位置 17
 編集 9
 カテゴリー 9
 削除 9
保存する, 現在地 9
ヒューズ, 交換 22

I

位置 7, 18
 場所 7
 保存する 9
 最近検索した 8
 シミュレート 18
 検索対象 6, 7
 現在 8, 9
 電話をかける 12
位置を検索する 6, 8, 11
 交差点 8
 カテゴリー 6
 座標 8
ID 番号 19

J

ジャンル別施設 (POI) 6, 8
 場所 7
自動音量, 有効にする 2
時間設定 19
自宅
 電話をかける 13
 位置を編集する 3
 移動 3
 電話番号 13
住所, 検索する 7

K

回避 5
 道路機能 5
 道路 5
 エリア 5, 6
 料金 5
 削除 6
 無効 6
カメラ 19
 赤信号 2
 バックアップ 19
 スピード 2
検索バー 6
検索エリアを変更する 7
キーボード
 言語 19
 レイアウト 19
緊急時サービス 8
近接ポイントアラート, 設定 19
帰宅する 3
この先 10
 カスタマイズ 10
コンピュータ, 接続 23
交差点, 検索する 8
更新
 地図 20, 21

ソフトウェア 20, 21
クイックサーチ 6
共有する, LiveTrack 16
吸着カップ 22

L

LiveTrack 16

M

マニュアル 15
マウント, 削除 22
マウントを取り外す 22
メモ리카ード 1
 挿入する 23
メモリーカード 23
microSD カード 1, 23
目的地 18. 参照項目 位置
 到着 3, 4
myTrends, ルート 5
ミュート操作, オーディオ 15

N

ナビゲーション 3, 4, 6
 設定 18
 直行ルート 6
燃料, ガソリンスタンド 8

O

音量, 調節 2
音声制御 15
 ヒント 15
オンスクリーンボタン 1
オーディオ, 近接ポイント 19

P

ペアリング
 電話 11, 22
 取り外し 14
 ウォッチ 16
photoLive 17, 18

R

Garmin ライブサービス 11
 サービスに申し込む 11
リセットする
 デバイス 21
 トリップデータ 10
ルート 2
 地図上に表示する 3
 開始 3, 7
 計算 5
 計算モード 17, 18
 形成する 4
 候補 5
 myTrends 5
 ポイントを追加する 4, 17
 停止する 5
ルート情報 3
ルートを形成する 4
料金, 回避する 5

S

サブスクリプション, Garmin ライブサービス 11
最近検索した場所 8
削除
 ペアリング Bluetooth デバイス 14
 トリップ 17
製品のサポート 15
接続 20
設定 18, 19
車両電源ケーブル 1
ショートカット
 削除 9
 追加 8
シミュレートされた場所 18
仕様 20
Smartphone Link 11, 13, 14
 接続 11, 13
 通話の無効化 13

ソフトウェア
バージョン 19
更新 20, 21
走行履歴 19
スクリーンショット 19
スピードカメラ 2
スリープモード 1

T

タッチスクリーンのクリーニング 21
天気 16
道路状況 17
レーダー 17
トラブルシューティング 22
トラフィック 10, 14, 19
代替ルート 5
カメラ 17, 18
レシーバー 14
サブスクリプションの追加 14
事故 10, 15
地図 10, 15
遅延の検索 10, 15
取り外し, Bluetooth デバイス 14
トリップ情報 10
表示 10
リセットする 10
トリッププランナー 17
シェイピングポイント 17
トリップを編集する 17
盗難, 回避する 21
TripAdvisor 8
ツール, 地図 9
通話 12
ダイヤルする 13
電話に応答する 12, 13
ミュート操作 13
音声ダイヤル 13
通知 11-14
駐車場 4, 7
最後の場所 4

U

迂回路 5
運転方向 3
USB, 取り外し 23

W

ワイヤレスカメラ 19
Watch Link 4, 15, 16
Wi-Fi 18, 20

Y

ユニット ID 19

し

ジオキャッシング 8

た

ダイヤルする 12

